

# 自分の心や行動を振り返ってみませんか？



人権尊重のまちづくりに向けて、自己的人権感覚を磨き、  
具体的な行動につなげていくことが大切です。

様々な人がいることに  
思いをめぐらし、多様  
性を認め合い、助け合  
う行動を心がけている。

身のまわりで起きる  
問題を「誰か」のこ  
とではなく「自分のこと  
」として考えている。

差別的な言動に同調したり、  
根拠のない不確かな情報を  
拡散したりせず、正しく判断  
するために確認をしている。

偏見や差別に基づく  
言動に気付き、おかし  
いと指摘し、やめるよ  
うに伝えることができる。

迷信や因習にこだわったり、  
思い込みで決めつけたり  
することなく、正しく知ろう  
としている。

子どもの思いや意見を  
聞いたり、子どもの良さを  
見つけたり、子どもの  
人権を尊重している。

様々な人権に関する講演会に参加したり、  
研修で意見交換をしたりして学び続けて  
いる。



©2010熊本県くまモン

## 熊本県人権センター(熊本県庁新館2階)

県の人権教育・啓発の拠点として「熊本県人権教育・啓発基本計画」に基づき、  
様々な人権問題の解決に向けて人権意識を高めるための活動に取り組んでいます。

TEL : 096-333-2299



## 問合せ先

### 熊本県教育庁市町村教育局人権同和教育課

〒862-8609  
熊本県熊本市中央区水前寺六丁目18番1号

TEL : 096-333-2702

FAX : 096-387-1455



発行者：熊本県教育委員会

所属：人権同和教育課

発行年度：令和4年度(2022年度)

園・学校、家庭、地域等のつながりで、「心」を温めましょう

## 人権侵害

### 冷たい心

- ・ 偏見
- ・ 予断
- ・ 差別心
- ・ 無関心
- ・ 他者を見下す
- ・ 「自分たちと違う」
- ・ 「自分には関係ない」
- ・ 「●●●のくせに」  
など

園・学校



子ども



家庭



地域



行政



人権侵害につながる冷たい心を氷山に例えてみました。氷山は海上に現れている部分よりも、海中に沈んでいる部分が、はるかに大きいように、人権侵害につながる冷たい心も、その大部分は隠れたままで見えにくく気づきにくいものです。

気づきにくい冷たい心は、不安、恐れ、いらだち、ねたみ、不満、怒りなどをきっかけとして人権侵害を引き起こしてしまうことがあります。だからこそ、人権尊重のまちづくりを目指す私たちは、氷山全体(冷たい心全体)を溶かしていかなければならないのです。

この氷山全体を溶かすには、自分を大切にするとともに、他の人を大切にしながら「心」を温めることが大切です。そのためには、毎日の生活の中で、様々な出会いや学びを通して、人としての在り方や生き方に触れながら、人の素晴らしさや温かさを実感しましょう。

そのことは、私たち一人一人の豊かな心を育て、人権意識を高めていくことにつながります。